

アスパラガス栽培の新規就農者拡大を伴走支援

大田市における新規就農者拡大策としてのアスパラガス栽培推進を関係機関とも協力のもと施設整備や販路の確保・拡大を支援。

○ 施策分類

担い手

○ きっかけ・背景、課題の把握

- ・大田市の関係機関は、令和2年度から新規就農拡大策としてアスパラガス高畝栽培に着手、大田市の定住促進策を追い風にUITターン者の取り込みで面積が拡大。
- ・大田市及びJAしまね石見銀山地区本部担当者と議論する中で、アスパラガスの産地化を図ることを把握。

○ 取組の内容

- ・「石見銀山アスパラガス生産組合」を対象に、県、市、JA（生産組合事務局）と連携。課題把握のため意見交換会を主催。
- ・意見交換会において、スマート農業技術活用促進法に係る情報提供を行うとともに、ハウス建設費用及び運送経費の高騰による所得減少等の課題を把握。新規就農者に対し個別訪問、更なる課題の把握と情報交換。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・JAが令和2年度からハウスリース事業(※)を開始。就農初期の負担軽減により就農のハードルを下げ、新規就農者増加に成功。
- ・規模拡大の意向がある複数の組合員がスマート機器の導入に向けて、生産方式革新事業活動の活用を模索。
- ・県拠点は、今後とも、新規就農者及び経営規模の拡大に向け継続して施策説明等、きめ細やかに伴走支援。

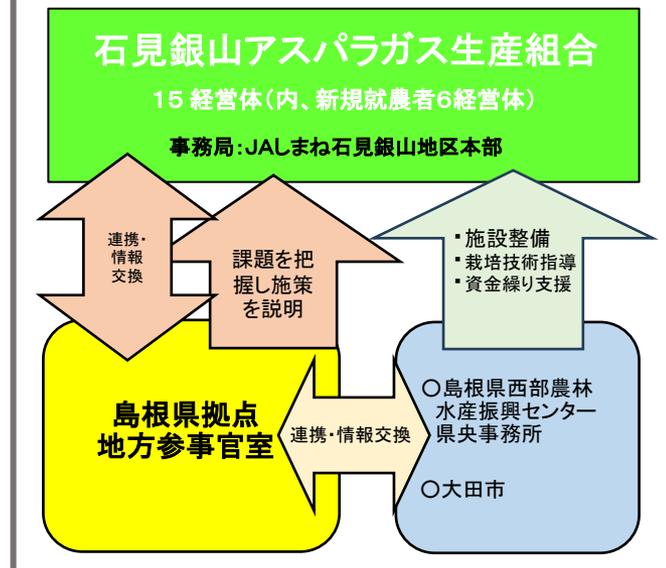


呼びかけに集まった組合員ら
前列右から3人目が生産組合長



意見交換会の様子

体制図



(※)ハウスリース事業

JAがビニールハウスを建設し、農業者に対して補助しながら10年間貸し付ける事業。助成金の交付期間は5年間。開始から3年間はリース料の1/2、残り2年間は同1/3を補助。建設費用に対する補助残金額を10年間で等分に除してリース料とし、10年後には当該農業者へ譲渡する仕組み。